

# 由岐湾内地区 住宅・住宅地計画コンペティション



コンペ対象敷地全景

## 1. はじめに

美波町西の地の水田を対象敷地として実施した「由岐湾内地区―住宅・住宅地計画コンペティション(競技設計)」の入賞者が決まり、1月15日に表彰式が行われましたので、去年9月11日美波町役場での記者発表からの経過をお知らせします。

まず、当コンペの目的について、募集案内文からご紹介します。

「〓美波町由岐湾内地区では、2012年から自主防災会が中心となつて『事前復興まちづくり』に取り組んでいきます。その中の最重要課題である、震災前過疎防止を目的とする高台造成候補地を対象とした住宅・住宅地計画をコンペティション方式で募集します。

津波に対して安全な高台造成候補地(現在は水田)を対象敷地として用意し、コンペティションにより、美波町民のための『防災機能を併せ持つ安全・安心で魅力ある居住環境像』をご提案ください。

ご提案いただく住宅・住宅地には、地域の将来を担う美波町内の若者世帯(美波町内に親世帯が居住)に優先的に入居してもらうことで、親世帯と近居

関係を築き、平常時はお互いの世帯の生活を支え合い、災害時には若者世帯が親世帯の避難先となつて親世帯の生活再建を助けることを考えています。〓

## 2. 経過と今後の予定

経過と今後の予定はつぎのとおりです。

9月11日 記者発表/美波町役場で

30日 応募登録締切り

一般36チーム(49名)

大学生5チーム(19名)

10月17日 現地見学会・説明会+宿泊体験

一般向け(18チーム23名)

24日 現地見学会・説明会

学生向け(5チーム13名)

12月15日 作品提出締切り

一般17チーム

大学生5チーム

21日 公開審査会と結果公表

1月15日 表彰式と入賞者を囲む座談会

16日 入賞作品と模型展示・人気投票開始

3月13日 展示と人気投票終了(予定)

なお、1月16日からの入賞作品と模型展示・人気投票は、「ぽっぽマリン2階ホール」でおこなっていますので、ぜひ一度足をお運び頂き、じっくりとご覧になって頂くとともに、入賞作品の人気投票にご参加ください。地元の熱意と盛り上がりが一番の事業推進力になります。

で、皆さまぜひ、ご感想やご意見をお寄せください。



## 3. 2種類の造成計画

さて、左上写真の対象敷地にどのような住宅(小)団地が成り立つだろうか?という疑問からスタートしました。そこでコンペでは2種類の造成計画を考え、そこに15戸の住宅を計画してもらうこととしました。

A型造成計画…県道26号から約2.5m低い住宅地

B型造成計画…県道26号とほぼ同じ標高の住宅地

### 【募集内容】

(1)対象敷地に若者世帯の(モデル住宅)を計画し

(2)良好な近隣関係が生まれやすいように、それを敷地全体に15戸配置する

(3)その対象敷地内に、15戸を含む近隣既存集落と湾内地区の防災のための施設、例えば、避難所になる集会所など、を計画すること。